

そなたは何をするクモぞ…



雪上に現れたカニ？

amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori

* 網張の森の生き物たち *

amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori

威嚇している様子の“ヤエンオニグモ”

3月に入っても雪が降り続き、森の木々の背丈が少し低くなったように感じる森の中でヤエンオニグモに出会いました。この時期に雪上で見られる虫はそれ程多くなく、クロカワゲラの仲間かクモガタガガンボかな？と当たりをつけてじっくり観察してみることにしました。クロカワゲラの仲間ほど真っ黒で細長くはないし、長い脚がひときわ目立つクモガタガガンボでもなさそうです。指で軽くツンと触れてみると、それまで縮こまっていた脚がパッと開き威嚇している様子が小さなカニのように見えて何ともユーモラス。昆虫よりも脚の数が少し多そう…「雪の上にクモ？」「ここで何を？」意外な場所での出現に疑問が湧いてきました。氷河期からの生き残りと言われているクロカワゲラの仲間やクモガタガガンボはこの時期にしか目にしませんが、ヤエンオニグモは5～8月頃に出現すると言われているのに…。いささか早すぎる出現ながらも動きはスムーズで何だか安心しました。ヤエンオニグモは絶食して冬を越すようですが、早春の気配を敏感に察知して樹皮の隙間などの越冬場所から出てきたのでしょうか？世界で唯一水中で生活している“ミスグモ”ならぬ、雪中や雪上で暮らす“ユキグモ”が見られる日もいつかやって来るのでしょうか？

What is “Yaenonigumo”?

「野猿峠が名前の由来のクモ」

コガネグモ科

体長：♀ 15～20mm

♂ 9～10mm

分布：北海道～九州

里山～山地に生息。樹林地、草原、林道などの比較的低い場所の樹間、草間に正常円網を張る。和名は最初の採取地である東京都八王子市の野猿峠（標高160m、かつては野ザルが多かったところから）が由来。2020年1月にも網張の森の雪上で確認している。

(同定等協力：岩手県立博物館 渡辺 修二 氏)
(参考図書：「日本のクモ」)

人はどのような環境に「美しいな、心地良いな…」と感じるものでしょうか。
それは草木から動物、微生物に至る多種多様な生物が、動的な平衡状態を保ちながら共存しうる、いわば「健康な環境」に対して、心地良さを感ずるからでしょう。

倒木を読む

第11話・終

林床の小さな生きものたち



大関 松三郎氏の「虫けら」という詩がある。国語の教科書でも取り上げられているのでご存知の方も少なくないだろう。農民が畑を耕す中で小さな生きものの暮らしを奪ってしまう事への葛藤、それをしない事には自分が食べていけない自然の節理や因果、森羅万象への慈愛等が飾らない言葉でつづられている。作者が12歳の時に産み出した作品と知ると、いっそう心に響く。

土壌動物について普段私たちは気に留める事はほとんどないと思うが、森が持続していくためには彼らの存在は必要不可欠であり、生態系ピラミッドの土台を担う重要な存在だ。土壌節足動物の中で最も数が多いとされているササラダ二類を例に見ると、頑丈なペンチのような口器で落葉や落枝を噛み砕き、大きな団子状の糞を排出する。糞は土壌の団粒構造の発達を進め、また糞自体は菌類（カビ）や細菌類（バクテリア）の働きによって分解され無機物となり植物の栄養源となり吸収される。*

森の循環するシステムが本当によく出来ている事に驚かされ、あらめて「森に無駄なものはなく美しい」という気持ちが心に浸みていく。 ※青木淳一氏『森の仕組みと樹木の生活にかかわるタニの世界』から一部引用

約2年間の連載を通して、森や木を複眼的な視点から捉えようと苦心してきた。木は人と感覚や時間軸が異なる生物だが、太陽や地球に寄り添い抗わず生きる姿勢を、人もまた思い出し見習うべき時が来ているように思う。今後も森が与えてくれる情報を、好奇心を失わずに読み解いていきたい。

ムカデの仲間



二ホンヒメフナムシ



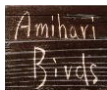
ヒラタムシの仲間



ヒトツモンミミズ



ヤケヤスネ



アミハリ・バードズ
Vol. 43

オオアカゲラ

科名：キツツキ科
全長：約28cm
生態：留鳥
分布：全国

鳴き声

キョッキョツ
キョッキョツ…

オオアカゲラは他のキツツキに比べると見かける頻度は低ですが、ひときわ大きなドラミングが聞こえると「今のはもしや？」と想像します。アカゲラより一回り大きく、お腹に縞模様があるのも見分けるポイントでしょうか。雄は雌に対して派手な頭の色をアピールし、気をひこうとしているようです。食べ物は動物食の他、木の実等も摂取します。夏は葉にいる幼虫もとりますが、それ以外の季節は枯れ木の中の虫をコツコツと探して食べているようです。



K.Hirano '22

▶ 網張ビジターセンター歴史 ～ Vol. 自然ふれあい行事 ～ ◀

網張ビジターセンターでは、開館したばかりの平成 17 年 1 月 30 日に自然ふれあいを目的とした主催行事を初めて行い、現在に至るまで様々な行事を開催し多くの方々にご参加いただいています。今回は、これまでにどのような自然ふれあい行事を開催し、今日まで続けてきたのかを振り返ってみたいと思います。

主催行事回数・一般参加者数の推移と主な出来事



主催行事延べ回数： 1, 331回

一般参加延べ人数： 10, 486名

これまで多くの方々にご参加いただきまして大変ありがとうございました。延べ人数には含まれていませんが、専門なお話を分かりやすく教えて下さる講師の皆さまをはじめ、安全で快適に行事を進められるようサポートいただいている岩手山地区パークボランティアの皆さまにも多大なご支援をいただいています。これからも網張周辺や岩手山等の魅力を伝えられるよう自然ふれあい行事を開催して参ります。

- 主催行事中止について -

岩手緊急事態宣言発令及びコロナウイルス感染状況拡大に伴い、下記期間において、主催行事を中止させていただいております。

ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

行事中止期間

1月29日～3月31日

なお、変更の場合は随時HPやフェイスブックにてお知らせいたします。

- スノーシューレンタルで森の散策 -

大人気の雪上ハイキングが中止となってしまいましたが、レンタルの際におすすりめコースを地図上でご説明しております。ニュースレター100号で取り上げました「マザーツリー」を目指した網張の森散策が好評でした。



(マザーツリー)

レンタル料金：半日(4h) 500円
一日(8h) 1,000円

好評です!

イグルー&手作りそり滑り



薬師社前の広場には、岩手山地区パークボランティア有志の皆様とビジターセンタースタッフの制作によるイグルーが7つほど並んでいます。ビジターセンターからすぐ近くにあり、冬靴で行くことができるよう道を整備していたので、スノーシューでの散策の方のみならず、スキー帰りや温泉に来られた方にも、気軽に楽しんでいただきました。雪のブロックを積み上げて作られたイグルーは「レンガみたいでおしゃれ」「中は静かで暖かい」などの感想が寄せられました。斜面を利用し、そり滑りもできるよう手作りそりを貸し出してあり、お子さんだけでなく大人の方にも好評でした。

イグルー周辺で、動物の足跡も見られました。どれがいいかな?とそれぞれのイグルーを探検したのかもかもしれません。

インフォメーション

網張ビジターセンター Facebook を開設しました!

行事や企画展、網張の自然情報を随時お知らせしていきます。どうぞお楽しみに。



- 現在開催中のビジターセンター企画展 -

- 細川 敬次 写真展 -

「かわいすぎるオコジョたち」

期間：3月2日(水)～4月30日(土)



◆ 細川 敬次 氏 プロフィール ◆

登山中に会った野生動物やオコジョ、テン、キツネ、クマ等の写真全18点を展示しています。

奥州市在住 山岳カメラマン
シーズンを通して山に入っている。

7月、雪が残る鳥海山行者岳を登山中のこと、岩の間から出てきたオコジョさんと目が合いました! 好奇心が旺盛なようで二度も足元近くから顔を出してくれました。かわいらしい表情に感動しきり。撮り始めから終わりまで約10分間オコジョさんに遊んでもらったようでした。

- 出展者の言葉より -

- こんなに積りました! -

管理棟が埋まってしまう降雪量



南側テラスの雪下ろしの様子です。3月上旬は、毎日のように雪下ろしをしないと窓からの光が入らず、ストーブの煙突も埋まってしまう状況でした。この日はボランティアさんにもお力を借って作業を行いました。

● 冬季特別企画 ●

網張の森でくらす動物たち Vol. ②③

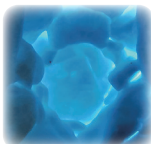


Vol.①に続き、クイズやパネル展示等を3/27まで行っています。森の散策後に「足跡クイズ」を見て、森で見てきた足跡の正体を確認する方も見られました。Vol.①の写真展の人気投票第1位は「トウホクノウサギ」でした。皆様のご投票ありがとうございました!

モモンガのつぶやき

今年初めて自分一人でイグルーを作りました。内部の直径を約180cmに決めて、後はおくくと雪のブロックを切り出しては積み上げていきます。昼食をはさみ、およそ5時間をかけて無事に完成!

イグルーの中は風の音もほとんど聞こえない穏やかな空間です。見上げると、雪を透過した青い光が宝石のように美しく、労力をかけた甲斐があったねとねぎらわれた気がしました。(K.H)



十和田八幡平国立公園 網張ビジターセンター

来館者数 ◆ 1月 787人 ◆ 2月 700人
朝9時のビジターセンター平均気温 ◆ 1月 -9.1℃ ◆ 2月 -8℃

発行 網張ビジターセンター運営協議会

〒020-0585 岩手県岩手郡雫石町長山小松倉 1-2 (網張温泉)
TEL 019-693-3777 FAX 019-693-3778
URL <http://amihari17.ec-net.jp>
E-mail amihari@vanilla.ocn.ne.jp

開館 冬期 (11月から3月末まで) 9時～17時 毎週火曜日休館